地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の令和５事業年度評価結果の主要な反映状況

参考資料３

地方独立行政法人法第29条に基づく評価結果の中期計画及び年度計画並びに業務運営の改善への反映状況については、以下のとおりである。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | 令和５事業年度評価における指摘事項 | 令和６年度の業務運営等への反映状況 |
| 試験検査機能の充実 | ○引き続き、公衆衛生に係る試験検査の充実に取り組まれたい。  ○信頼性確保に関するさらなる意識向上の取組みを実施するなど、引き続き検査機関としての信頼性確保の向上を図られたい。 | ○外部機関の実施する技術研修に検査部門職員を派遣し、技術習得による人材強化を図った。  ○信頼性確保部門が各試験検査部門に対して、内部精度管理記録の点検、内部監査等を実施した。  ○外部精度管理調査に参加し、良好な結果を得た。 |
| 調査研究機能の充実 | ○引き続き十分な研究資金確保に向け、外部資金獲得の取組みを推進されたい。  ○引き続き、学術分野や産業界と連携した受託研究、共同研究の推進に努められたい。 | ○研究環境支援を目的とした科学研究費申請促進事業の支援対象研究課題6件のうち3件が令和7年度文科科学研究費に採択された。  ○新たに若手研究員スタートアップ支援事業を開始し、競争的外部資金の獲得に向けた支援を実施した。  ○学術分野や産業界等との受託研究を10件、共同研究を28件実施した。 |
| 研修及び感染症情報の収集等 | ○公衆衛生に係る有用な情報について、行政はもとより府民等に対してより広く、適時・適切に届くよう、ホームページを分かりやすくするなど、更なる情報発信の取組みを実施されたい。また、報道機関に対しても、積極的な情報提供に努められたい。 | ○大阪・関西万博感染症情報解析センターの運用を開始し、感染拡大や重症例発生等のリスク評価結果を関係機関（万博協会や保健所等）に提供した。  ○報道機関に対する連絡会を毎月開催し、大阪府の感染症情報等について解説した。  ○新たに「大安研公開講座」を開催し、感染症についての講演を実施した。 |
| 地方衛生研究所の広域連携及び特に拡充すべき機能 | ○令和５年度に開始した循環器疾患予防分野においては、業務に応じた体制を整え、データ解析の研究内容の充実を図られたい。 | ○循環器疾患予防対策事業における大阪府内の健診・保健指導・医療費等のデータ分析を行い、各自治体等の方針策定を支援した。  ○大阪府と協働して健康増進に係る普及啓発イベントに参加した。 |
| 業務運営の改善 | ○今後も、業務の効率化や職員の能力及び勤務意欲につながる取組みに努められたい。 | ○人事評価制度を適切かつ円滑に運用するため、説明会及び研修を実施した。  ○職員表彰等規程に基づき、優秀職員等の表彰を実施した。 |
| 財務その他業務運営に関する重要事項 | ○引き続き、リスクマネジメントを徹底し、職員が健康的に働き、検査研究機関として健全な組織運営がなされる環境整備を進められたい。 | ○安全衛生委員会により各種活動を行うとともに、産業医による健康相談や研修を実施し、快適な職場環境の形成を図った。  ○コンプライアンスや研究活動における不正防止について研修を実施した。 |